

# 地域と連携した安心・安全な学校づくり ～通学路の安全（防犯）に関する取組の推進～ (長門市立仙崎小学校)

## 〈ねらい〉

学校・家庭・地域が連携して、学校安全3領域の観点から総合的に通学路の安全点検や安全マップづくり等を行う活動を行うことにより、地域ぐるみでの学校安全活動の充実を図るとともに、子どもたちが「自他の命を守る」という高い安全意識を育むことを目的として実施する。



## 取 組 内 容

1 実施期間：平成31年4月26日～令和2年2月6日

2 実施校：長門市立仙崎小学校（校長：奥屋 隆伸）

### 3 取組内容

#### (1) 危険予測学習（KYT）・授業研究

3年生の学級活動で「安心・安全な帰り道」として、仙崎の街に潜む危険について話し合ったり警察の方の話を聞いたりすることを通して、安全を守ってくれる人の存在に気付くとともに、安心安全に下校するための自分の行動目標を作ることができるようにする授業を実施しました。

#### (2) 不審者対応学習

3年生の授業「こども110番教室」で、警察官を講師に招き、110番のしかた、不審者への対応方法などを学習しました。



#### (3) 地域の環境点検と児童による安全マップづくり

5年生及び6年生が県学校安全アドバイザー、警察官、市少年安全サポーター、自治会長、公民館職員と一緒に校区内の安全点検を実施し、その結果を基にした安全マップを作成しました。



#### (5) 学校の対応力向上

若手教職員の知識・対応力向上等のため、避難訓練時と職員研修会で専門家を招聘し、不審者対応教職員研修を実施しました。



#### (6) 登下校時見守り活動

地域の方による毎日の登校時の見守りに加え、付き添い下校を開始しました。

#### (7) 「子ども110番の家」の見直し

公民館から「子ども110番の家」へ再依頼を実施し、児童が訪問し、あいさつを実施しました。



#### (8) 日常的な地域交流の推進

授業支援、地域学習、高齢者サロン等地域交流活動等、児童と地域との顔つなぎの場を設け、安心して話せる地域の大人とのコミュニケーションづくりを推進しました。



### 4 成果

#### (1) 安全意識の高揚

安全指導の充実により、安全指導の授業時間が増加し、体験学習による深い理解と実践力を育成できた。また、110番通報や児童・保護者からの情報提供が増加するなど、不審者を認識する力が向上した。

#### (2) 地域との連携充実

見守り下校や学校での高齢者サロンの開催、地域とふれあう行事（地域清掃活動、凧揚げ大会・徘徊対応訓練）への参加奨励等により、地域住民と児童の交流機会が増加し、地域ぐるみで児童の安全確保の充実を図ることができた。

#### (3) 情報発信

学校の取組が地元ケーブルテレビに取り上げられた。地元の視聴者が多く、何度も放送される地元ケーブルテレビの情報発信効果は絶大で、学校の取組が広く伝わる効果を実感できた。

### 5 課題

#### (1) 地域との密接な連携推進

下校時における散歩など、下校見守りの日常化について地域の方へ協力を依頼するとともに、学校は地域行事への積極的な参加や、地域の方が訪れやすい学校環境づくりを進めることで、学校と地域との密接な連携を推進していきたい。

#### (2) 情報発信の強化

公民館と連携して、掲示板や会議の機会を活用して、学校の取組情報を発信していきたい。また、地元のマスコミと協力すること等により、学校の取組を周知し、広く注意喚起や啓発を行うことで犯罪未然防止等の効果を期待したい。